

第1回 日本工学会との広報ミーティング 議事メモ CPD 協議会

開催日時：2020年10月1日（木）16から17時 Zoom

メンバー：日本工学会柴田理事、井上事務局長、高木CPD委員長、原

添付参考資料：「工学会の生い立ちと歴史」井上事務局長より

CPD 広報委員 各位、

高木委員長の取り計らいにより、日本工学会広報委員会：柴田理事との初会見が実現しました。

- ・柴田： 広報といっても具体的にどういうことをして良いのかわかりませんが、当面問題となっていることを少しずつ解決していくことから始めましょう、との前向きなご意見がありました。
- ・原： 広報の相手が誰であるかということが重要で、現在は、民間企業への継続学習として、学会、協会、大学、国研を活用するようなやり方ですが、日本工学会としては、上部の組織というイメージで何をすれば良いのかわかりません。
- ・柴田： 他の学協会と異なり、工学全体をとらえて横断的な立場が日本工学会です。そのことを皆様へ伝える必要があります。
- ・柴田： まずは、会員相互の情報交換が重要です。OB やフェローの方々へお願いし、両広報委員会として、懇談会や合宿などを企画してはいかがでしょうか？
- ・高木： まずは日本工学会の知名度が低く、ウィキペディアにも出てこないのが現状です。
- ・柴田： それならまず当面の問題点としてウィキペディアへ載せることから始めたら良いのではないのでしょうか。（ミーティング後、早速高木さんから藤代先生へ以前のボランティア継続で、協力要請のメールをされました。今後柴田理事と相談の上、藤代先生へお願いする予定）
- ・原： 日本工学会には、偉大な歴史があり、これを広報としてまとめる事が重要である、ということ、奥津広報委員から依頼されて、何もしていないので、これを機会に再開したと思います。
- ・井上： 歴史については以前に少しまとめたものがあるので、スタートとしてこれを参考にしては？との事。（早速メールにて受取りましたので、添付します。）

以上

作成：広報委員長：原